

令和4年度

教育委員会の事務に関する点検評価報告書
(令和3年度対象)

令和4年11月
人吉市教育委員会

目 次

《 はじめに 》	1
人吉市教育委員会の構成（令和4年11月1日現在）	
地方教育行政の組織及び運営に関する法律〔抜粋〕	
1 教育委員会の活動及び運営状況	2
(1) 教育委員会の概要	2
教育委員会の目的	2
人吉市教育委員会委員（令和3年度の教育委員）	2
(2) 教育委員会の主な活動内容	2
教育委員会の活動状況	2
教育委員会会議	3
① 会議の開催状況（令和3年度実績）	
② 審議状況	
（ア）付議案件数	
（イ）会議に付された主な案件	
総合教育会議	3
① 会議の開催状況（令和3年度実績）	
② 審議状況	
③ 会議に付された案件	
教育長及び教育委員の活動	3
① 所管施設訪問状況	
（ア）学校訪問	
（イ）他の主な会議・行事等	
2 点検及び評価の目的	11
3 学識経験者の知見の活用	11
4 点検及び評価の対象	11
人吉市教育委員会が点検及び評価を行った事業	
5 点検及び評価の結果	12
(1) 総合評価基準	12
(2) 点検評価シート（7事業）	
学校安全対策事業	13
特別支援教育支援員配置事業	15
学校給食事業	17
人吉市地域学校協働本部事業	19
スポーツコーディネーター業務委託（人吉市小学校社会体育）	21
史跡大村横穴群保存修理事業（補助）	23
人吉市童話発表大会	25
《基本理念》 《教育目標》	27

《 はじめに 》

人吉市教育委員会は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定に基づき、効果的な教育行政の推進に資するとともに市民への説明責任を果たすため、令和3年度事業の点検及び評価を実施し、その結果を報告書にまとめ、議会に提出するとともに公表します。

人吉市教育委員会

人吉市教育委員会の構成

(令和4年11月1日現在)

教育長	志 波 典 明
委員(教育長職務代理者)	大 園 恭 幸
委員	永 田 ミ キ
委員	加 賀 邦 保
委員	岡 本 麻 美

地方教育行政の組織及び運営に関する法律〔抜粋〕

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

1 教育委員会の活動及び運営状況

(1) 教育委員会の概要

〈教育委員会の目的〉

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」において、教育委員会の基本理念として、地方公共団体における教育行政は、教育基本法の主旨にのっとり、教育の機会均等、教育水準の維持向上及び地域の実情に応じた教育の振興が図られるよう、国との適切な役割分担及び相互の協力の下、公正かつ適正に行われなければならないとなっています。

本市においては、人吉市総合計画を上位計画として、人吉市教育振興基本計画に基づいた教育目標の達成に向けて、教育委員会委員及び事務局を中心に高い使命感を持ちながら市民の意向を反映した責任ある教育行政が実現できるように努めています。

人吉市教育委員会委員（令和3年度）

役職名	氏名	就任	任期満了
教育長 (新制度教育長)	末次 美代	平成27年7月1日 平成30年7月1日再任	令和3年6月30日 退任
教育長 (新制度教育長)	志波 典明	令和3年7月1日	令和6年6月30日
委員 (職務代理者)	西口 詳一郎	平成26年4月10日 平成30年4月10日再任	令和4年4月9日 退任
委員	永田 ミキ	平成28年10月1日 令和3年1月1日再任	令和6年12月31日
委員	長船 法文	平成28年10月1日 平成29年10月1日再任	令和3年9月30日 退任
委員	岡本 麻美	令和3年10月1日	令和7年9月30日
委員	加賀 邦保	令和元年10月1日 令和3年7月1日再任	令和7年6月30日

(2) 教育委員会の主な活動内容

〈教育委員会の活動状況〉

教育委員会の活動としては、教育長、教育委員4名で、小学校6校、中学校3校、計9校の学校参観を行いました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、例年とは異なり、時間を短縮して行う形となりましたが、引き続き教育現場の声を活かした教育行政を推進していきます。

教育委員会の運営としては、教育委員会会議を13回開催し、審議事項55件、承認・協議事項等17件について審議等を行い、今後取り組むべき事業の方向性を決定しました。

今後も「広報ひとよし」や市ホームページを利用し、定例の教育委員会会議等への傍聴の呼びかけを行い、開かれた教育委員会を目指していきます。

〈教育委員会会議〉

① 会議の開催状況（令和3年度実績）

会 議	開催数	傍聴者数
定例会	12 回	2 名
臨時会	1 回	0 名

② 審議状況

（ア）付議案件数

審議事項	55 件
承認・協議事項等	17 件

（イ）会議に付された主な案件

- ・ 人事案件について
- ・ 規則・要項の制定及び改正について
- ・ 一般会計予算について
- ・ 人吉市学校運営協議会委員等の任命について
- ・ 教育委員会の点検及び評価について

〈総合教育会議〉

① 会議の開催状況（令和3年度実績）

会 議	開催数	開催月
総合教育会議	1 回	2 月

② 審議状況

協議事項	教育長及び教育委員出席状況
1 件	5 名

③ 会議に付された案件

- ・ 熊本県学力・学習状況調査を踏まえた取り組みについて
- ・ 市内小中学校ICTの有効活用について

〈教育長及び教育委員の活動〉

① 所管施設訪問状況

（ア）学校訪問

区 分	対 象	期 日	教育長及び教育委員出席状況
小学校訪問	6校	令和3年7月～ 令和3年11月	延べ 30人
中学校訪問	3校		延べ 15人

(イ) 他の主な会議・行事等

	会議・行事名	期日	教育長及び教育委員出席状況
1	臨時的任用教職員辞令伝達式	令和3年4月1日 (木)	1名
2	球磨管内教職員辞令交付式	令和3年4月1日 (木)	1名
3	教職員人事異動に伴う辞令伝達式	令和3年4月1日 (木)	5名
4	新規採用教職員宣誓式	令和3年4月2日 (金)	1名
5	大招魂祭奉納少年剣道大会	令和3年4月5日 (月)	1名
6	初任者研修連絡協議会	令和3年4月6日 (火)	1名
7	学校保健推進合同会議	令和3年4月7日 (水)	1名
8	入学式 (小・中学校)	令和3年4月9日 (金)	5名
9	人吉球磨教育振興会役員会・総会	令和3年4月16日 (金)	1名
10	定例教育長・校長合同会議	令和3年4月16日 (金)	1名
11	市内校長会議	令和3年4月20日 (火)	1名
12	市内教頭・主幹教諭会議	令和3年4月21日 (水)	1名
13	人吉球磨人権教育研究協議会第1回代表者会議	令和3年4月22日 (木)	1名
14	人吉市小学校社会体育運営委員会総会	令和3年4月27日 (火)	1名
15	市内中学校体育祭	令和3年5月16日 (日)	1名
16	定例教育長会議・教育推進会議	令和3年5月17日 (月)	1名
17	市内小学校運動会	令和3年5月23日 (日)	1名
18	市内校長会議	令和3年5月25日 (火)	1名
19	第1回人吉市校区公民館長連絡協議会	令和3年5月27日 (木)	1名
20	放課後パワーアップ教室開講式	令和3年6月2日 (水)	5名

	会議・行事名	期日	教育長及び教育委員出席状況
21	人吉市立教育研究所英語教育部会	令和3年6月7日 (月)	1名
22	人吉市立教育研究所情報教育部会	令和3年6月8日 (火)	1名
23	人吉東小 学校運営協議会	令和3年6月18日 (金)	1名
24	人吉文化協会定例理事会	令和3年6月18日 (金)	1名
25	人吉球磨総合美展運営委員会(第1回)	令和3年6月21日 (月)	1名
26	犬童球溪顕彰音楽祭協議会 (第1回)	令和3年6月21日 (月)	2名
27	臨時市内中学校長会議	令和3年6月22日 (火)	1名
28	わくわくスタディミーティング事業 授業者選任委員会	令和3年6月24日 (木)	1名
29	第19回ひとよし温泉マラソンに係る役員会議	令和3年6月24日 (木)	1名
30	中体連大会	令和3年6月26日 (土) ・27日 (日)	1名
31	人吉西小 学校運営協議会	令和3年6月28日 (月)	1名
32	第1回人吉市社会教育委員会 (公民館運営審議会)	令和3年6月29日 (火)	1名
33	西瀬小 学校運営協議会	令和3年7月2日 (金)	1名
34	第二中 学校運営協議会	令和3年7月5日 (月)	1名
35	市内校長会議	令和3年7月6日 (火)	1名
36	定例教育長会議	令和3年7月7日 (水)	1名
37	第1回人吉市地域学校協働本部会議	令和3年7月9日 (金)	1名
38	学校参観 (大畑小・第三中・東間小)	令和3年7月12日 (月)	5名
39	人吉市犯罪を許さないまちづくり推進協議会	令和3年7月12日 (月)	1名
40	経営訪問 (第二中)	令和3年7月14日 (水)	5名

	会議・行事名	期日	教育長及び教育委員出席状況
41	「旅愁」SP盤 試聴会	令和3年7月16日（金）	1名
42	人吉市学校安全衛生委員会	令和3年7月20日（火）	1名
43	夏休みパワーアップ教室開講式	令和3年7月26日（月）	4名
44	第1回人吉市学校給食食物アレルギー対応委員会	令和3年7月26日（月）	1名
45	第19回ひとよし温泉マラソン第1回実行委員会	令和3年7月27日（火）	1名
46	人吉市草木山川学校（夏版）	令和3年7月28日（水）	1名
47	第1回人吉市学校給食センター運営委員会総会	令和3年7月29日（木）	1名
48	人吉市（中学生）子ども議会事前学習会	令和3年7月30日（金）	1名
49	いじめ問題対策連絡協議会	令和3年8月3日（火）	1名
50	夏休みパワーアップ教室開講式	令和3年8月3日（火）	4名
51	就学時健診事務協議会	令和3年8月5日（木）	1名
52	初任者（教員）研修	令和3年8月10日（火）	1名
53	人吉市文化財保護委員会	令和3年8月20日（金）	1名
54	人吉市指定文化財等保存活用専門会議 大村横穴群部会	令和3年8月26日（木）	1名
55	市内校長会議	令和3年8月30日（月）	1名
56	総合訪問（人吉東小）	令和3年8月31日（火）	5名
57	熊本県学力向上会議	令和3年9月3日（金）	1名
58	人吉市教育支援委員会	令和3年9月10日（金）	1名
59	犬童球溪顕彰音楽祭協議会（第2回）	令和3年9月17日（金）	1名
60	管理職選考考査（二次）	令和3年9月27日（月）	1名

	会議・行事名	期日	教育長及び教育委員出席状況
61	小学校運動会 (人吉東小・人吉西小・東間小)	令和3年10月3日(日)	1名
62	市内校長会議	令和3年10月7日(木)	1名
63	県立高校入学者選抜制度検討会	令和3年10月8日(金)	1名
64	定例教育長会議・教育推進会議	令和3年10月11日(月)	1名
65	球磨人吉中体連駅伝大会	令和3年10月12日(火)	1名
66	球磨教育事務所との連絡会	令和3年10月13日(水)	1名
67	人吉市(中学生)子ども議会	令和3年10月15日(金)	1名
68	就学時健診(東間小)	令和3年10月18日(月)	1名
69	就学時健診(大畑小)	令和3年10月19日(火)	1名
70	小学校外国語活動合同研修会 (一中・三中校区)	令和3年10月20日(水)	1名
71	人吉球磨人権教育研究協議会第3回代表者会議	令和3年10月20日(水)	1名
72	経営訪問(人吉西小)	令和3年10月21日(木)	5名
73	講演会(水上村)	令和3年11月1日(月)	1名
74	総合訪問(西瀬小)	令和3年11月2日(火)	5名
75	総合訪問(第一中)	令和3年11月4日(木)	5名
76	市内教頭・主幹教諭会議	令和3年11月5日(金)	1名
77	定例教育長・校長合同会議及び人事異動事務説明会	令和3年11月9日(火)	1名
78	犬童球溪頭彰音楽祭「碑前祭」	令和3年11月10日(水)	5名
79	県中体連駅伝大会	令和3年11月12日(金)	1名
80	人吉市青少年育成市民会議6団体交流会	令和3年11月13日(土)	1名

	会議・行事名	期日	教育長及び教育委員出席状況
81	市内校長会議	令和3年11月17日(水)	1名
82	人吉市小学校社会体育運営委員会	令和3年11月17日(水)	1名
83	第12回ペタンク大会	令和3年11月21日(日)	1名
84	経営訪問(中原小)	令和3年11月24日(水)	5名
85	第2回人吉市地域学校協働本部会議	令和3年11月24日(水)	1名
86	第2回人吉市社会教育委員会(公民館運営審議会)	令和3年11月25日(木)	1名
87	第2回人吉市校区公民館長連絡協議会	令和3年11月25日(木)	1名
88	人吉球磨地区租税教室推進協議会 「税に関する表彰」(東間小)	令和3年11月29日(月)	1名
89	人吉球磨学校保健結核対策委員会	令和3年11月30日(火)	1名
90	人吉球磨地区租税教室推進協議会 「税に関する表彰」(第一中)	令和3年12月2日(木)	1名
91	人吉球磨地区租税教室推進協議会 「税に関する表彰」(第二中)	令和3年12月3日(金)	1名
92	東間校区民体育祭(グラウンドゴルフの部)	令和3年12月5日(日)	1名
93	就学時健診(人吉西小)	令和3年12月10日(金)	1名
94	第69回球磨一周市町村対抗熊日駅伝大会人吉市選手団結団式	令和3年12月14日(火)	1名
95	人吉球磨地区租税教室推進協議会 「税に関する表彰」(山田小)	令和3年12月16日(木)	1名
96	県立高校入学者選抜制度検討会	令和3年12月17日(金)	1名
97	第69回球磨一周市町村対抗熊日駅伝大会	令和3年12月19日(日)	1名
98	市内校長会議	令和3年12月20日(月)	1名
99	人吉市学校安全衛生委員会	令和3年12月21日(火)	1名
100	教職員異動第一次面接(総合庁舎)	令和3年12月23日(木)	1名

	会議・行事名	期日	教育長及び教育委員出席状況
101	人吉市成人式	令和4年1月3日 (月)	5名
102	犬童球溪顕彰音楽祭協議会 (第3回)	令和4年1月7日 (金)	2名
103	人吉市体育施設事故防止対策審議会	令和4年1月11日 (火)	1名
104	定例教育長会議	令和4年1月17日 (月)	1名
105	市内校長会議	令和4年1月21日 (金)	1名
106	教職員異動第二次面接 (総合庁舎)	令和4年1月25日 (火)	1名
107	第2回人吉市学校給食センター運営委員会総会	令和4年2月3日 (木)	1名
108	人吉市特別支援連携協議会	令和4年2月8日 (火)	1名
109	市内校長会議	令和4年2月10日 (木)	1名
110	いじめ問題対策連絡協議会	令和4年2月10日 (木)	1名
111	教職員異動第三次面接 (総合庁舎)	令和4年2月14日 (月)	1名
112	教育推進会議	令和4年2月14日 (月)	1名
113	定例教育長・校長合同会議	令和4年2月15日 (火)	1名
114	市内教頭・主幹教諭会議	令和4年2月16日 (水)	1名
115	第1回人吉市童話発表大会 ※中止のため、ビデオ撮影会	令和4年2月20日 (日)	1名
116	人吉球磨学校教育振興協議会	令和4年2月24日 (木)	1名
117	通知表検討委員会	令和4年3月1日 (火)	1名
118	第2回人吉市学校給食食物アレルギー対応委員会	令和4年3月1日 (火)	1名
119	市内校長会議	令和4年3月2日 (水)	1名
120	放課後パワーアップ教室閉講式	令和4年3月2日 (水)	4名

	会議・行事名	期日	教育長及び教育委員出席状況
121	中学校卒業式	令和4年3月6日（日）	3名
122	人吉市小学校社会体育運営委員会総会	令和4年3月18日（金）	1名
123	人吉市草木山川学校（春版）	令和4年3月19日（土）	2名
124	小学校卒業式	令和4年3月23日（水）	5名
125	人吉市学校給食センター納入業者指定書交付式	令和4年3月29日（火）	1名

2 点検及び評価の目的

平成19年6月に地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部が改正され、平成20年4月から施行されました。法改正の目的「教育委員会の責任体制の明確化」の一つとして「教育委員会の点検及び評価」が位置付けられています。

教育委員会がその権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価することにより、効果的な教育行政の推進に資するとともに、住民への説明責任を果たすことを目的としています。

3 学識経験者の知見の活用

点検評価の客観性を確保するために「教育に関し学識経験を有する者の知見の活用」を図ることとなっています。

広い観点からの知見の活用を図るため、担当課が行った点検評価の結果について3名の学識経験者から様々な御意見、御助言をいただきました。

学識経験者

あらけ まさひろ 荒毛 正浩 氏	元市役所職員
あだち きみこ 安達 貴美子 氏	元小学校校長
どうざき 道崎 ひとみ 氏	市PTA連絡協議会推薦

4 点検及び評価の対象

令和3年度中に人吉市教育振興基本計画に基づき実施した7事業について、点検及び評価を行いました。

人吉市教育委員会が点検及び評価を行った事業

課名	点検及び評価を行う事業
学校教育課	学校安全対策事業 特別支援教育支援員配置事業 学校給食事業
社会教育課	人吉市地域学校協働本部事業 スポーツコーディネーター業務委託 (人吉市小学校社会体育)
文化課	史跡大村横穴群保存修理事業(補助) 人吉市童話発表大会

5 点検及び評価の結果

教育委員会においては、学識経験者の知見の活用を図りながら事業評価を行い、今後の方向性を示す総合評価をA～Dで表し、最終的な点検評価として意見をまとめました。

(1) 総合評価基準

区分	評価結果に基づく改善等の内容	内容の詳細
A	継続して管理・運営を進めることが適当	特に問題もなく進捗状況も順調で、計画的に事業を進めるもの。
B	事業の進め方を改善検討し、事業は継続	進捗状況は順調であり、事業内容にも意義があるため継続が望ましいと判断できるが、事業の進め方等に改善の余地があるもの。
C	事業規模・内容、または実施主体の見直しを検討	進捗状況も芳しくなく、結果もあまり期待できないが、事業規模・内容・実施主体に改善の余地があるもの。
D	事業の抜本的見直し、休・廃止の検討	進捗状況が大幅に遅れており、事業そのものに行政が関与する必要がなく休・廃止が望ましいもの。

(2) 点検評価シート（7事業）

点検評価シート <自己点検評価用> (評価対象：令和3年度事業)

事業名・担当部署							
1	事業名	学校安全対策事業					
2	担当課名	学校教育課		担当者	丸尾 亜紀子		
3	総合計画における政策体系	政策	コード	名称	施策	コード	名称
			2	一人ひとりが学び続ける、豊かな人生づくり		9	学校教育の充実

事業の内容					
4	誰のために行うか 〔具体的な対象者・受益者など〕	・市内各小・中学校の児童・生徒、教職員及び学校施設を利用する市民			
5	何のために行うか 〔目的・ねらい・コンセプト〕	・学校は、教育の場であると同時に、児童生徒等が1日の大半を過ごす生活の場でもある。また、地域の方々のコミュニティの拠点であるとともに、災害時の避難場所としての機能も大きな役割となっており、学校が果たす役割は年々重要なものとなっている。そのような学校において、安全で安心な環境を確保することは、学校設置者としての責務である。			
6	事業の概要	・防災・防犯の観点から、学校施設等について安全対策を講じるもの。			
7	コスト内訳	年度	令和2年度(実績)	令和3年度(実績)	令和4年度(見込)
		合計	1,385千円	2,067千円	1,009千円
		① 国庫補助金			
		② 県補助金			
		③ 起債			
		④ その他			
⑤ 一般財源	1,385	2,067	1,009		

事業の成果と課題	
8	<p>成果・実績</p> <p>【数値にできる場合は数値も含めてコメント。数値にできない場合はコメントのみ。】</p> <p>・令和3年度消防設備点検により、修理・交換等が必要と判断された設備及び経年劣化傾向にある物品について、大規模な改修等（防煙扉改修、ホース交換など）を行い、大部分を改善することができた。しかしながら、一部について機器の入替を検討する箇所もあり、応急的な処置で対応した。</p>
9	<p>今後の課題や改善等</p> <p>・消防設備による防火対策のみならず、学校内への侵入犯罪に係る施設・設備面の防犯対策についても、未然に防ぐ対策、有事の際に被害を最小限に留めるための対策を講じなければならない。さらに、施設・設備面における対策のみで児童生徒を完全に守り切ることに限界があるため、教職員の意識向上を含めた学校の管理運営面での対応や、保護者や地域団体等との協力体制の確立等のソフト面での取り組みも不可欠と考える。学校設置者として、各学校に対してハード面・ソフト面ともに対策を講じていかなければならない。</p> <p>・特に不審者対策については、現在設置しているワイヤレス侵入者防犯システムも設置後期間が経っているため、機能の確認等を行う必要がある。</p>

事業の評価と今後の事業計画

今後の事業の方向性	総合評価	左の「総合評価区分」を選択した理由
10	B	<ul style="list-style-type: none"> ・学校設置者として重要な取り組み事項の一つであるが、現状として全学校において完全な安全対策ができているとは言い難い状況である。既存の機器等の点検・修理は当然のことながら、防犯灯やアラーム機器等の導入など、より安全性を向上すべく検討が必要である。 ・より実践的な防災・防犯訓練等を実施できるよう、学校と関係各所（消防署、警察署、防災課、地域コミュニティ課、地域住民など）を繋ぐなど、学校をサポートしていかなければならない。

学識経験者の意見

11	<ul style="list-style-type: none"> ○防災面・防犯面ともに緊急性の高いことが多い中で、少しでも早くしなければならない事から備えてほしい。 ○校舎の老朽化にともない、修繕箇所や取替箇所が多いと思うが、児童の安全を一番に考えて早急に工事等が行えるようにしてもらいたい。 ○防犯カメラは個人情報の観点から、今のところ設置する予定はないとの説明を聞いたが、設置していることを示すことで、犯罪の予防に繋がると考える。「防犯カメラ作動中！」の掲示に効果があると思う。 ○時間帯によっては、学校には自由に出入りできる状況もあり、保護者か不審者かの区別はつきにくい。特に暗くなってきてから不審者の侵入は恐怖である。今の時代は何があってもおかしくないため、子どもたちの不安解消のためにも、防犯カメラの設置は必要と考える。 ○消防設備点検によって、修理・交換が必要な設備の整備がなされたことは、児童・生徒・教職員の安全確保のみならず、災害時の避難所として利用する観点からも有意義であったと考える。 ○今後は、消防設備だけでなく、学校内の防犯対策について、ハード面・ソフト面での対策を講じられていくことも必要と思われるが、学校の地域貢献という見地から、地域に開かれた学校運営についても併せて検討していただきたい。
----	--

教育委員会の評価

12	<p data-bbox="295 1561 464 1597">総合評価</p> <p data-bbox="320 1794 368 1854">B</p> <p data-bbox="472 1561 1410 1682">安全で安心な環境を維持管理していくことは、児童生徒のみならず、学校を利用される地域住民の方々の命を守ることに繋がる必要不可欠な事業である。</p> <p data-bbox="472 1695 1410 1771">消防設備については、継続して点検及び不備箇所の改修を行うことで安全の確保に努めていかなければならない。</p> <p data-bbox="472 1785 1410 1951">更なる安全性の向上のために、行政・教職員・保護者・地域住民とで各学校の現状課題を共有し、連携した体制の整備を図ることで、ソフト面からも学校の安全対策を検討する必要があること、侵入者対策についても機器改修等の検討をする必要があることから「B」を選択した。</p>
----	---

点検評価シート <自己点検評価用> (評価対象：令和3年度事業)

事業名・担当部署							
1	事業名	特別支援教育支援員配置事業					
2	担当課名	学校教育課		担当者	鶴口光和		
3	総合計画における政策体系	政策	コード	名称	施策	コード	名称
			2	一人ひとりが学び続ける、豊かな人生づくり		9	学校教育の充実

事業の内容						
4	誰のために行うか 〔具体的な対象者・受益者など〕	市内小・中学校に在籍する児童生徒				
5	何のために行うか 〔目的・ねらい・コンセプト〕	通常学級に在籍している特別な支援を要する児童生徒に対し、学校生活・学習の両面において個に応じた細やかな指導や適切な支援を実現し、学級全体の安定運営と担任の業務負担軽減を図る。				
6	事業の概要	通常学級には、発達障害等の理由により学校生活や学習面で特別な支援を要する児童生徒が在籍しており、各学校に特別支援教育支援員を配置することによって、担任1名による学級指導体制をフォローし、児童生徒の個に応じた細やかな支援・指導体制を確立させる。				
7	コスト内訳	年度	令和2年度(実績)	令和3年度(実績)	令和4年度(見込)	
		合計	31,776千円	34,533千円	41,010千円	
		① 国庫補助金				
		② 県補助金				
		③ 起債				
		④ その他				
⑤ 一般財源	31,776	34,533	41,010			

事業の成果と課題						
8	成果・実績 【数値にできる場合は数値も含めてコメント。数値にできない場合はコメントのみ。】	令和3年度は、特別な支援を要する児童が在籍する市内小学校全6校に、合計16名の特別支援教育支援員を配置し、学校生活・学習両面での細やかな支援体制を確立することができた。また、担任の業務負担軽減と学級経営の安定化、職場環境の改善が図られ、より充実した支援体制を確保することができた。				
9	今後の課題や改善等	特別な支援を要する児童生徒は増加傾向にあり、各学校からは特別支援教育支援員の増員の要望が多い。併せて、人件費の財源確保の問題から、中学校へ配置できていない状況を改善する必要がある。				

事業の評価と今後の事業計画

	今後の事業の方向性	総合評価	左の「総合評価区分」を選択した理由
10		B	<p>特別支援教育支援員配置事業は、特別な支援を要する子どもたちの個に応じた適切な支援を行う事業として、趣旨・目的ともに必要な事業であり、今後も継続して実施していく必要がある。小学校から中学校への連携および継続した支援の必要性を考慮し、市全体の財政状況を踏まえながら、人件費の財源を確保して、中学校への新規配置を進めなければならない。</p>

学識経験者の意見

11	<p>○現在、小中学校の現状から、特別支援教育支援員の役割が増えている。児童の実態に応じた支援が行える体制づくりは、中学校においても必要と考える。</p> <p>○授業中の支援の中で、特に「水泳」の授業は、教員が指導に集中できるよう、安全確保の面で支援員の見守りが有効である。</p> <p>○規模によって人数もある程度確保してほしい。財政的に困難であると思うが、学校現場は一人でも職員が多いとそれだけ助かる。</p> <p>○働き方改革の面からも小学校の現状維持と中学校への配置が必要であると考えます。</p> <p>○自閉症や発達障害など特別な支援が必要な児童生徒が増加していく中、その対応として支援員の配置は今後とも必要であり、学級担任の業務負担軽減を図る上でも、支援員の増員が望まれる。</p> <p>○特別な支援を要する子は増加傾向だが、給食や体育など通常学級との交流を活発にしてほしい。教師の業務負担を減らし、学級経営の安定化を図ることは、教師にとっても、子供達にとっても大事である。</p> <p>○学校関係者や医師会、特別支援学校、福祉課などで構成する人吉市教育支援委員会が設置され、就学について審議されておられる。対象の児童生徒に対する対応について、家庭はもとより、保健センターや幼稚園、保育園など関係機関と連携しながら就学指導のより一層の充実も必要と考える。</p>
----	---

教育委員会の評価

12	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="236 1538 478 1590">総合評価</th> <th data-bbox="478 1538 1428 2029"></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="236 1590 478 2029">B</td> <td data-bbox="478 1590 1428 2029"> <p>特別な支援を要する児童生徒に対し、学習・生活両面において個に応じた適切な支援を行うことで、学級全体の安定運営と担任の業務及び精神的負担軽減に繋がる学校運営上不可欠な事業であり、今後も継続していく必要がある。</p> <p>対象児童生徒が増加傾向にあることから、全ての児童生徒が必要な学びを手に入れられるよう、適正な支援員の配置は喫緊の課題である。</p> <p>人件費の財源を確保し、各小学校への特別支援教育支援員の増員並びに中学校への新規配置の必要性があることから「B」を選択した。</p> </td> </tr> </tbody> </table>	総合評価		B	<p>特別な支援を要する児童生徒に対し、学習・生活両面において個に応じた適切な支援を行うことで、学級全体の安定運営と担任の業務及び精神的負担軽減に繋がる学校運営上不可欠な事業であり、今後も継続していく必要がある。</p> <p>対象児童生徒が増加傾向にあることから、全ての児童生徒が必要な学びを手に入れられるよう、適正な支援員の配置は喫緊の課題である。</p> <p>人件費の財源を確保し、各小学校への特別支援教育支援員の増員並びに中学校への新規配置の必要性があることから「B」を選択した。</p>
総合評価					
B	<p>特別な支援を要する児童生徒に対し、学習・生活両面において個に応じた適切な支援を行うことで、学級全体の安定運営と担任の業務及び精神的負担軽減に繋がる学校運営上不可欠な事業であり、今後も継続していく必要がある。</p> <p>対象児童生徒が増加傾向にあることから、全ての児童生徒が必要な学びを手に入れられるよう、適正な支援員の配置は喫緊の課題である。</p> <p>人件費の財源を確保し、各小学校への特別支援教育支援員の増員並びに中学校への新規配置の必要性があることから「B」を選択した。</p>				

点検評価シート <自己点検評価用> (評価対象：令和3年度事業)

事業名・担当部署							
1	事業名	学校給食事業					
2	担当課名	学校教育課		担当者	上村 洋樹		
3	総合計画における政策体系	政策	コード	名称	施策	コード	名称
			2	一人ひとりが学び続ける、豊かな人生づくり		9	学校教育の充実

事業の内容						
4	誰のために行うか 〔具体的な対象者・受益者など〕	市内小・中学校の児童・生徒及びその保護者				
5	何のために行うか 〔目的・ねらい・コンセプト〕	学校給食法第11条により給食費（食材費）は保護者負担とされており、子育て世帯には大きな負担となっている。 給食費の一部を助成することで子育て世代の経済的負担を軽減するため。				
6	事業の概要	給食費の一部助成を実施（1か月あたり約1,000円を助成）				
			4月	5月～2月	合計	1食あたり
	小学校	助成なし	4,344円	4,000円	44,344円	241円
		助成あり	3,488円	3,000円	33,488円	182円
		助成額	856円	1,000円	10,856円	59円
	中学校	助成なし	5,760円	4,500円	50,760円	282円
		助成あり	4,780円	3,500円	39,780円	221円
		助成額	980円	1,000円	10,980円	61円
7	コスト内訳	年度	令和2年度(実績)	令和3年度(実績)	令和4年度(見込)	
		合計	21,154千円	21,589千円	20,960千円	
		財源① 国庫補助金	0	0	0	
		財源② 県補助金	0	0	0	
		財源③ 起債	0	0	0	
		財源④ その他	0	0	0	
	財源⑤ 一般財源	21,154	21,589	20,960		

事業の成果と課題	
8	<p>成果・実績</p> <p>【数値にできる場合は数値も含めてコメント。数値にできない場合はコメントのみ。】</p> <p>・給食対象者 小学校(1,780名)、中学校(920名) うち要保護及び準用保護世帯、就学援助対象者、給食費過年度滞納者は除く。</p> <p>・給食実施日数 小学校184日、中学校180日</p> <p>・年度初めに「学校給食の経費と給食助成金について」(別紙)を全世帯に配布し、周知した。</p> <p>■子育て世代の経済的支援として、給食費の一部助成を実施し、一人当たり年間約11,000円が軽減された。</p>
9	<p>今後の課題や改善等</p> <p>給食費を滞納することにより、給食費の一部助成は受けられない。 滞納世帯に積極的にアプローチし、滞納の解消とともに給食費の一部助成により保護者の経済的負担軽減につなげる。</p>

事業の評価と今後の事業計画			
	今後の事業の方向性	総合評価	左の「総合評価区分」を選択した理由
		10	B
学識経験者の意見			
11			<p>○現在、給食費の約20%程度の補助が行われているが、滞納者は補助を受けられないということで、できるだけ滞納を防ぐ手立てが必要であると考え。</p> <p>○給食費の一部助成は、子育て世代の保護者の経済的負担軽減に一定の効果が認められていると考え。補助額をすぐに増額することは難しいと思うが、保護者の負担を少なくできるよう、段階的に補助額を給食費総額の半額へ、最終的には、市長のマニフェストどおり無償化すべきと思う。</p> <p>○給食費を無償化することにより、当然ながら給食費の滞納処理も無くなり、給食センターの運営上、負担軽減になると思われる。</p> <p>○今回の点検評価の対象は、学校給食費の助成事業となっているが、事業の点検評価は、本来、従来どおり、「学校・家庭・地域連携による食育」や「安全安心でおいしい学校給食の適正な運営」などについての事業を対象にすべきと考える。</p>

教育委員会の評価	
	総合評価
12	<p>B</p> <p>給食費（食材費）は保護者負担とされており、保護者には大きな負担となっていたため、保護者の経済的負担を軽減することができた事業であり、今後も継続すべき事業である。</p> <p>給食費滞納世帯は給食費の一部助成を受けられないため、滞納を解消することで全ての世帯が助成を受けられるよう対策を講じる必要がある。</p> <p>単に無償化を進めるのではなく、給食費の意味合いを再度周知したり、子を養育する保護者としての責任と自覚を促す等、慎重な対応及び多くの議論が必要である。</p> <p>今後は全世帯に公平な負担軽減措置とするためにさらなる滞納対策を図る必要があること、公会計化移行に向けた準備を進める必要があることから「B」を選択した。</p>

点検評価シート <自己点検評価用> (評価対象：令和3年度事業)

事業名・担当部署					
1	事業名	人吉市地域学校協働本部事業			
2	担当課名	社会教育課	担当者	上野 政信	
3	総合計画における政策体系	コード	名称	コード	名称
		2	一人ひとりが学び続ける、豊かな人生づくり	8	社会教育の充実

事業の内容					
4	誰のために行うか 〔具体的な対象者・受益者など〕	人吉市内小中学校の児童・生徒			
5	何のために行うか 〔目的・ねらい・コンセプト〕	これまで各中学校区で取り組んできた独自の地域学校協働活動の成果を基盤とし、学校と地域が連携・協働し、地域全体で未来を担う子どもたちを育成する学校支援活動の更なる充実・活性化を図るもの。			
6	事業の概要	<p>【組織構成】</p> <p>市内全ての小中学校で、地域学校協働活動を推進するために、本市における本部の下に、中学校区毎の支部を設置する構成としている。この各支部に地域学校協働活動推進員（コーディネーター）を1人ずつ配置し、各小中学校のコミュニティスクールにおける学校運営協議会委員とすることで、組織の連携と円滑な運営を図る。</p> <p>【学校支援活動】</p> <p>地域学校協働活動推進員（コーディネーター）が、学校と地域の橋渡し役となり、学校のニーズや支援要請に応じ、学校支援ボランティアの募集及び人員確保とボランティア派遣を行う。</p>			
7	コスト内訳	年度	令和2年度(実績)	令和3年度(実績)	令和4年度(見込)
		合計	5,509千円	6,057千円	6,464千円
		① 国庫補助金			
		② 県補助金	123	126	140
		③ 起債			
		④ その他			
	⑤ 一般財源	5,386	5,931	6,324	

事業の成果と課題	
8	<p>成果・実績</p> <p>【数値にできる場合は数値も含めてコメント。数値にできない場合はコメントのみ。】</p> <p>■学校支援ボランティア登録者数 360人（前年度比：93人減）</p> <p>学校支援活動実績（合計：支援回数466回、延べ支援者数1,837人） （前年度：支援回数402回、延べ支援者数1,520人）</p> <p>【一中校区】支援回数130回、延べ支援者数442人 【二中校区】支援回数296回、延べ支援者数1,177人 【三中校区】支援回数40回、延べ支援者数218人</p> <p>令和3年度は、コロナ禍において万全の感染対策を期し、ボランティアの皆様のお力添えをいただきながら、学校支援活動を継続し各校区において、支援回数、延べ支援者数とも、昨年度を上回る結果となった。（実働率については、昨年度の28%から51%へ大幅増）</p> <p>また、昨年度の課題であった「ボランティアの継続意向調査」を登録者全員に対して実施した結果、登録者の死亡・転出・高齢による辞退等の理由により、昨年度から144人の減となったが、新たに51人の新規登録者を獲得することが出来た。</p> <p>さらには、昨年度から受付開始した団体登録についても、昨年度の1団体から5団体へと順調な伸びを見せている。</p>
9	<p>今後の課題や改善等</p> <p>地域と学校の連携・協働を効果的・継続的に行うためには、学校運営協議会と地域学校協働本部、地域学校協働活動の一体的な推進が求められる。具体的には、地域と学校が、子供たちの学びの充実のために、協議し、協働し、活動後の評価をして、また次の取組につなげていくというPDCAサイクルを回していくことが重要であると考えている。</p> <p>学校運営協議会には、地域学校協働活動推進員が委員として参画しているため、地域の方々と様々な意見交換等を行い、学校運営協議会の中で地域学校協働本部との一体的な推進を図っていく。</p>

事業の評価と今後の事業計画

	今後の事業の方向性	総合評価	左の「総合評価区分」を選択した理由
10		B	<p>今年度は、コロナ禍においても、各校区とも支援回数・延べ支援者数いずれも、昨年度を上回る結果となり、豪雨災害を乗り越え、学校支援活動の輪の広がりが窺える。</p> <p>しかし、今後も持続可能な事業とするためには、地域と学校が双方向で連携・協働することが重要であるが、現時点では地域から学校への支援活動がほとんどである。学校から地域に対しての新たな事業展開の検討、更なる学校支援ボランティアの確保、学校運営協議会と一体的な推進など、本事業をあらためて見直す必要がある。</p>

学識経験者の意見

11	<p>○学校ボランティアの活動は、学校と地域がともに成長する大切な取り組みである。特に、学校側が必要とするボランティアをすぐに頼める組織があることが心強い。</p> <p>○活動の要は地域学校協働活動推進員の存在であり、3つの校区に一人ずつ配置されていることは、大変ありがたい。</p> <p>○本事業は、学校の教育環境の向上や子どもたちの人材育成、地域とのつながりを深めていく上で極めて重要な事業と考える。</p> <p>○先行実施していた二校区以外の小中学校でも令和元年度から本事業を実施されているが、校区によってばらつきはあるものの関係者の理解と協力により、支援回数や延べ支援者数とも昨年度を上回ったことは、大いに評価できる。</p> <p>○ぜひこの活動を続けて、児童生徒の成長を地域全体で見守り育てる体制を残していただき、児童生徒と地域との交流がますます深まることを願っている。</p> <p>○今後は、豪雨災害の復旧やコロナ禍の中、厳しい状況ではあるが、課題とされている学校から地域に対しての貢献活動については、町内会会長への更なる周知や公民館活動との連携などの取組が必要であると思われる。</p> <p>○地域学校協働活動の中の一つの活動として、子ども王国保安官活動を取り込んだらどうか。登下校の見守り活動だけでなく、300人近い保安官の経験や知見を地域学校協働活動で活かしてもらうことで、地域との繋がりがよりよいものとなると考える。</p>
----	--

教育委員会の評価

12	<p>総合評価</p> <p>B</p> <p>地域住民の知識と経験を生かした学校支援ボランティア活動の支援回数や支援者数が前年度を上回ったことは、評価できると考える。しかしながら、活動が学校支援に偏っているため、今後においては、地域と学校が対等の立場で連携し、協働活動の充実を図らなければならない。</p> <p>学校と地域がともに相互共助を学びあい、成長する機会であり、多世代間での交流の場でもあるこの事業を今後さらに充実したものにし、活性化させることが必要であることから「B」を選択した。</p>
----	---

点検評価シート <自己点検評価用> (評価対象：令和3年度事業)

事業名・担当部署							
1	事業名	スポーツコーディネーター業務委託(人吉市小学校社会体育)					
2	担当課名	社会教育課		担当者	樺木 智成		
3	総合計画における政策体系	政策	コード	名称	施策	コード	名称
			2	一人ひとりが学び続ける、豊かな人生づくり		12	スポーツの振興

事業の内容						
4	誰のために行うか 〔具体的な対象者・受益者など〕	市内小学校4～6年生の参加児童及びその保護者				
5	何のために行うか 〔目的・ねらい・コンセプト〕	小学校運動部活動の廃止(平成31年4月)に伴い、児童の運動習慣の二極化の防止及び児童の生涯スポーツの入口として運動機会を創出し、かつ児童の身体機能向上並びに健康増進を図るため。スポーツコーディネーターを配置し、人吉市小学校社会体育の実施計画及び運動メニューの作成等を行い円滑な事業運営を行う。				
6	事業の概要	<p>市内小学校6校の体育館等を使用し、学校単位の社会体育活動(以下「本活動」という。)を行い、参加児童に運動機会の提供をする。活動内容は、特定の競技種目に特化したものではなく、レクリエーションスポーツその他総合的な運動を実施。</p> <p>運動指導・運動プログラム作成をしてもらうため、スポーツコーディネーター業務をNPO法人人吉市体育協会へ委託。また、同協会から本活動の指導者を派遣してもらっている。</p> <p>本活動の運営方針の決定については、人吉市小学校社会体育運営委員会(委員17名構成：学校関係者6名、学校PTA関係者6名、校区公民館長連絡協議会1名、スポーツ推進委員協議会1名、教育長1名、教育部長1名、市スポーツコーディネーター1名)において、協議・検討を行っている。</p>				
7	コスト内訳	年度	令和2年度(実績)	令和3年度(実績)	令和4年度(見込)	
		合計	2,059千円	2,061千円	2,061千円	
		① 国庫補助金				
		② 県補助金				
		③ 起債				
		④ その他				
	⑤ 一般財源	2,059	2,061	2,061		

事業の成果と課題						
8	成果・実績 【数値にできる場合は数値も含めてコメント。数値にできない場合はコメントのみ。】	<p>市内6小学校それぞれ12～14回実施(計77回実施、延べ参加人数901人)し、市内対象児童(4～6年)830人の内、86人(10.36%：目標20%)の児童の参加申込があった。</p> <p>大きな事故・怪我なく実施できた。指導者から見て参加児童の運動能力向上が確認できしており、目的である「児童の身体能力の向上及び健康増進」に寄与できたものと考えている。</p>				
9	今後の課題や改善等	<p>本活動については、受益者負担の原則からスポーツコーディネーター業務以外の必要経費については、会費収入で運営しているため、持続的な事業継続のために会員数確保が大きな課題である。</p> <p>必要経費(傷害保険料や指導者謝礼等)確保のために、目標加入率20%としている。目標には届かなかったものの、加入児童は前年度比で8名増加した。</p> <p>事業検証するために、対象学年の全児童(本活動に不参加の児童も含む)にアンケートを実施した。アンケート結果から、本活動の内容を知らない保護者が多数おり、平成29年度から今年度まで実施してきた広報・周知策から考えると、プリント配布や集会での説明ではなかなか広報効果が上がっていないと分析。令和3年度には、次年度以降の会員増加を図るため人吉西小、東間小、西瀬小の3校の3年生で、体験活動を実施した。新型コロナウイルス感染症の影響から体験活動が中止となった学校もあった。</p> <p>また、指導者確保も課題である。受託者において、指導者研修及び確保を鋭意進めておられるが、事業継続のため引き継ぎの育成・確保が必要である。</p>				

事業の評価と今後の事業計画

	今後の事業の方向性	総合評価	左の「総合評価区分」を選択した理由
10		B	<p>アンケートの結果などからも、本活動は多くの児童に運動する楽しさや喜びを実感できる環境を提供できており、児童の運動機会の場としては有効であると感じている。</p> <p>子どものうちから運動習慣を身につけることは、運動能力の向上だけでなく、将来的な健康増進にもつながっていくことから、子どもの身体活動の重要性に関する保護者の意識を高め、参加率向上させていく取り組みが必要である。</p> <p>また、事業継続には人材確保も課題で、現委託先の人吉市体育協会以外で受託できる団体はなく、協会内においても将来的なスポーツコーディネーター及び指導者の確保が必要となってくる。</p>

学識経験者の意見

11	<p>○本事業は小学校の運動部活の廃止に伴う学校単位の社会体育活動への取組であり、本市の子ども達の身体機能向上や健康増進を図るうえで重要な事業である。総合的な運動ができる環境を整備され、継続されていることは大変意義深い。</p> <p>○小学校部活動の廃止に伴い、身体を動かさない子供達が増えてきていると感じている。スポーツの楽しさを経験してほしい。保護者向けに、更なる周知や声掛けなどが必要と考える。</p> <p>○本事業を各学校で実施できていることで、外部のスポーツクラブチームに入部するにはハードルが高い児童にとって、気軽に楽しく取り組める大切な場となっていると考える。</p> <p>○少しでも多くの児童に運動の楽しさを知ってもらい、後の健康増進にも繋がるよう、加入率を上げる体験の機会を増やしてほしい。</p> <p>○令和3年度においては、コロナ禍の影響により、参加児童数が10%弱で目標の20%を下回ったことは残念であった。</p> <p>○開催回数は前年度より少なかったものの、参加者のアンケートにおける感想では、概ね良好な意見があり、内容的には評価できるので、今後とも参加者を拡大するために引き続き保護者への更なる周知が必要と思う。</p> <p>○今後も学校規模に関わらず、各小学校でこの活動ができるよう継続してほしい。</p> <p>○コロナ禍で厳しい状況と思われるが、昨年度の意見にもある通り、市体育協会のみならず、あしきた青少年の家などの外部機関の専門スタッフの活用などを広く検討しつつ、今後より一層取り組んでほしいと考える。</p>
----	---

教育委員会の評価

	総合評価	
12	B	<p>小学校運動部活動が廃止となり、運動の機会が減った。さらに児童の運動能力及び体力について低下傾向でもある。運動の機会を提供し、身体機能向上並びに健康増進を図る重要な事業である。</p> <p>加入率の向上や指導者の人材確保など運営面で多くの課題を抱えている。加入率を高めるためには、受託者任せにしない魅力ある実施計画や運動メニューの策定、さらなる事業の周知活動等が必要であることから「B」を選択した。</p>

点検評価シート <自己点検評価用> (評価対象：令和3年度事業)

事業名・担当部署							
1	事業名	史跡大村横穴群保存修理事業(補助)					
2	担当課名	文化課		担当者	嶋田 敏朗		
3	総合計画における政策体系	政策	コード	名称	施策	コード	名称
			2	一人ひとりが学び続ける、豊かな人生づくり		11	歴史文化遺産の保存と活用

事業の内容						
4	誰のために行うか 〔具体的な対象者・受益者など〕	市民及び来訪者				
5	何のために行うか 〔目的・ねらい・コンセプト〕	史跡の本質的価値を保護し次世代に継承しつつ、その価値が地域の誇りとして醸成されるような整備活用を目指す。				
6	事業の概要	<p>平成6～16年度にかけて大村横穴群東群(人吉駅裏)の整備事業を実施し、施工箇所は安定していた。しかし平成22年4月に未整備であった西群(民家、JR鉄道事業部付近)での崖面崩落が起り、今後の大規模崩落の危険性が高まったため、岩盤の安定化を図り、文化財の保存と安全な公開活用を目的とした整備を実施。</p> <p>平成25年度から継続して西群一帯の安定対策工事を実施し、そのうちⅠ工区(民家裏延長約100mの範囲)については、令和3年度までに概ね施工完了しており、令和4年度はⅠ工区の支障木伐採及び事業内容を周知するための看板や整備報告書を刊行する予定。</p> <p>今後2年間の休止期間を経て、令和7年度から約6ヶ年で西群Ⅱ工区(城本公園内延長75mの範囲)の整備事業を実施する予定。</p>				
7	コスト内訳	年度	令和2年度(実績)	令和3年度(実績)	令和4年度(見込)	
		合計	6,578千円	18,851千円	8,500千円	
		財① 国庫補助金	3,280	9,338	4,250	
		② 県補助金	0	728	0	
		③ 起債	2,900	7,800	1,400	
		④ その他	0	0	0	
⑤ 一般財源	398	985	2,850			

事業の成果と課題						
8	成果・実績 【数値にできる場合は数値も含めてコメント。数値にできない場合はコメントのみ。】	<p>西群のうち民家・畑に面する範囲(Ⅰ工区)を施工。令和3年度はⅠ工区B2ゾーンの284.59㎡に落石防護網工事を実施。これによりⅠ工区全体の延長約100mの範囲について、本体工事が概ね完了した。史跡保護の目的もさることながら、安全性の面において住民からも安堵の声をいただいている。</p> <p>Ⅰ工区は平成25年度より施工を開始しているが、事業途中の平成28年度には熊本地震も発生した。しかし施工箇所については、熊本地震による新たな落石等は発生しておらず、事業実施の効果が一定程度得られていると判断できる。</p>				
9	今後の課題や改善等	<p>平成28年の熊本地震に伴う新庁舎建設の影響を受け、平成30年度は一時的に事業を休止したが、安全対策目的の観点から平成31年度より事業を再開した。</p> <p>加えて令和2年7月の豪雨災害を受け、市の財政状況がひっ迫しているため、本事業については令和5年度より2年間の休止期間を設ける見通しである。</p> <p>しかし、本事業は本来Ⅱ工区を主として実施する目的で国、県の承認や補助を受けて進めている(Ⅱ工区の施工完了をもって事業の完了とみなされる)。よって、今後も効果的かつ、より経済性の高い工法を鋭意調査・検討しながら、Ⅱ工区事業の遂行に向けて努力していかなければならない。</p>				

事業の評価と今後の事業計画

	今後の事業の方向性	総合評価	左の「総合評価区分」を選択した理由
10		B	<p>大村横穴群は、古墳時代に造営された横穴墓で、当地の歴史を考察するうえで極めて重要な史跡である。本事業等を実施することにより、大村横穴群を次世代へ確実に継承し、地域の誇りや心の拠り所となるような整備の在り方を確立し、地域振興などへの活用を促進する。</p> <p>市の財政状況は厳しい局面を迎えているが、市の財産でもある史跡の保存と安全な公開活用のために必須の事業としてこれまでも実施してきた。</p> <p>令和2年7月豪雨災害では特に多くの文化財が被害を受け、歴史ある建物等、未指定文化財では失われたものも多いと想定される。残された文化財の保存と活用は、今後の人吉市の復興の希望や市民の心の拠り所として、ますますその存在意義が高まると想定される。</p> <p>大村横穴群についても、今後も引き続きⅡ工区の事業着手と完遂に向けて努力したい。</p>

学識経験者の意見

11	<p>○人吉の魅力は、「文化財の宝庫である」とも言える。歴史的にも重要な文化財を先代から受け継ぎ残していくことは、財政的にも労力的にも大変であるが、人吉をもり立てるためにも、何とか受け継げるよう努力していただきたい。</p> <p>○本事業は、歴史的価値が極めて高い史跡を保存活用する事業であり、今後とも重要かつ必要な事業と考える。</p> <p>○令和3年度にⅠ工区ゾーンの落石防護工事が完了し、地域住民の安全性の確保が図られたことは、大いに評価できる。</p> <p>○昨年度の意見にもあるが、JR人吉駅およびくまがわ鉄道と隣接していることから、現在は豪雨災害で利用されていないものの、復旧された際は郡市の観光資源としての位置づけも検討していただき、経済部と連携し、市民はもとより観光客の方々への当史跡の認知度向上を期待する。</p> <p>○市の財政事情により、令和5年度より2年間の事業休止はやむを得ないが、本事業については、継続してより一層、保存活用してほしい事業と思われるので、令和7年度からは、Ⅱ工区事業を確実に実施していただきたい。</p> <p>○大村横穴群は古墳時代に造営されたものであることを初めて知ったので、史跡の保存の事などを市民に知って貰えるよう公開を広げていってほしい。</p>
----	--

教育委員会の評価

	総合評価	評価内容
12	B	<p>史跡の本質的価値を保護し次世代へ継承していかなければならない。自然災害の発生も予測されることから、未施工面下の住民や城本公園利用者の安全性を確保するためにも継続すべき事業と考える。史跡の認知度の向上も課題であり、人吉の魅力である文化財を観光資源として利活用も考えていく必要もある。</p> <p>今後、国・県の補助金等財源を最大限確保し、効果的かつ経済性の高い工法を検討しながら事業完了を目指し、認知度の向上も図る必要があることから「B」を選択した。</p>

点検評価シート <自己点検評価用> (評価対象：令和3年度事業)

事業名・担当部署					
1	事業名	人吉市童話発表大会			
2	担当課名	文化課	担当者	田中 芳博	
3	総合計画における政策体系	政策	コード	名称	施策
			2	一人ひとりが学び続ける、豊かな人生づくり	

事業の内容					
4	誰のために行うか 〔具体的な対象者・受益者など〕	人吉市内の小学生及び保護者			
5	何のために行うか 〔目的・ねらい・コンセプト〕	子どもたちに対し、童話に親しむと共に創作活動を活発にする機会を与え、読書意欲の向上と豊かな人間性の育成を図るため。			
6	事業の概要	<p>①市内各小学校を通じて人吉市図書館で公募し、低学年の部、中学年の部、高学年の部からなる小学生の童話発表大会。</p> <p>②童話（日本、外国及び創作もの）、昔話等児童の読みものを、1年生～2年生は5分以内、3年生～6年生は7分以内で発表。出場者が多数の場合は、予選会を実施。本選18名による本大会をカルチャーパレス小ホールで開催する。</p> <p>③本大会において、最優秀賞、人吉市小中学校校長会長賞、人吉市PTA連絡協議会長賞として各1名に対し、賞状と記念品を授与。そのほか出場者に対し優秀賞として賞状と記念品を授与する。</p> <p>※本事業は、キックオフイベントとなる第1回人吉市童話発表大会であったが、新型コロナウイルス感染症の急拡大により中止した。</p>			
7	コスト内訳	年度	令和2年度(実績)	令和3年度(実績)	令和4年度(見込)
		合計	0千円	25千円	273千円
		財源① 国庫補助金		0	0
		財源② 県補助金		0	0
		財源③ 起債		0	0
		財源④ その他		0	0
財源⑤ 一般財源		25	273		

事業の成果と課題					
8	成果・実績 【数値にできる場合は数値も含めてコメント。数値にできない場合はコメントのみ。】	<p>令和3年度、学校における働き方改革に伴い、伝統ある「熊本県童話発表大会」及び「人吉球磨児童による童話発表大会」が終了となった。本市の教育推進のためには、子どもの読書活動を大切にしなければならないという確固たる考えから、公募による本市独自の新たな「人吉市童話発表大会」として、令和4年2月に開催する予定であった。開催事前の参加意向調査では62名であったものの、コロナ禍ということもあって、実際の参加申込者は13名であった。</p> <p>なお、今大会は、新型コロナウイルス感染症の急拡大により、残念ながら中止を余儀なくされたが、大会に向け読書に親しみ、一生懸命練習されてきたその頑張りに対し、参加申込者全員に優秀賞と記念品を贈呈した。また、なんとか発表の場、思い出の場を提供したいという強い思いから、ビデオ撮影会を実施したところ13名中5名の参加があり、その子どもたちのいきいきとした発表の様子を録画したDVDの贈呈も行った。</p>			
9	今後の課題や改善等	<p>前身となる「人吉球磨児童による童話発表大会」は、熊本県図書館活動振興協議会球磨支部との共催によりスムーズに運営されてきたが、本大会の第1回大会は中止となり、令和4年度第2回大会が事実上の初開催となるため、開催後に事業の検証を実施し、課題や改善等を洗い出す必要がある。また、大会は単に出場する子ども達だけの童話発表の場ではなく、多くの児童が絵本や書籍を手に取り、読書に親しむ機会になっていることから、学校、PTA等と連携しながら実施することが重要である。</p>			

事業の評価と今後の事業計画

	今後の事業の方向性	総合評価	左の「総合評価区分」を選択した理由
10		A	<p>学校における働き方改革に伴い、教育委員会として事業の転換と新たな独自の事業を展開するに至ったこと。また、コロナ禍でありながら、子どもと保護者が一体となって大会に向けて読書活動に親しみ、努力されてきたことに対し参加者全員に優秀賞等を授与できたこと、そして、希望者に発表の場を提供できたことで、中止された大会であったが、読書活動の推進に寄与できたため。</p>

学識経験者の意見

11	<p>○人吉球磨全校から選ばれた児童が集う「童話発表会」は、学級→学年→学校→本番と段階を踏んで代表を選び、校内全児童が発表や聞き手として参加していたことに意義を感じていた。多くの児童が挑戦し、練習に取り組む過程で、児童と家庭のコミュニケーションも図られていたと思う。それだけに、この事業が人吉球磨全域で取り組めなくなったことは、大変残念である。</p> <p>○同事業は、子どもたちの読書意欲の向上や豊かな人間性の育成を図る観点から素晴らしい事業であったにもかかわらず、令和3年度から伝統ある「童話発表会人吉球磨大会」「同県大会」が中止されたことは、極めて残念だったと考える。</p> <p>○コロナ禍とあって中止を余儀なくされて子供達はとても残念だったこととだろう。</p> <p>○読書活動の大切さと本事業の重要性を鑑み、「人吉市童話発表大会」を市単独で開催されたことは、大いに評価でき、大変意義深い。より多くの児童が童話に親しみ、本の魅力やお話を語る魅力を感じてほしい。</p> <p>○残念ながら新型コロナウイルス感染症の急拡大により、大会自体は開催できなかったが、ビデオ撮影会で5名の発表をDVDに録画されたということであり、今後の事業継続のためにもそのDVDを広く活用してほしいと願うものである。</p> <p>○童話発表会の様子を、多くの児童が視聴できる企画も考えてもらいたい。</p> <p>○新型コロナウイルスへの対応として、オンライン方式の大会運営も可能と考えられることから、総合評価はA判定になっているが、事業の進め方に課題が残るので、B判定にすべきと考える。</p> <p>○多くの子ども達は本当に絵本が大好きで読書の楽しさを分かっている子が多くなってきていると思う。（学校での読み聞かせの際に、子ども達が知らないだろうと準備した本を皆知っていたこともあり、驚かされた。）もっともっと本の楽しさを知って、沢山の子に発表してほしい。</p>
----	--

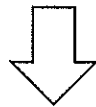
教育委員会の評価

12	B	<p>「人吉球磨児童による童話発表大会」の終了後、本市独自で開催できたことは意義深い。</p> <p>運営や募集に関して、これから多くの課題が出てくることが予想されるが、児童の創造性を高める機会であり、読書意欲の向上と豊かな人間性の育成を図る教育的価値の高い事業であることから、今後も末永く継続していくべき事業と考える。</p> <p>参加児童数が増えることで、児童の読書への興味・関心が高くなり、読書活動が活発になると考えられるので、学校とも連携し、参加児童数の増加を目指したい。</p> <p>今後、参加児童数の増や大会の認知度向上、そしてコロナ禍での発表形式の協議など、課題もあることから「B」を選択した。</p>
----	---	--

《 基本理念 》

本市は、「市民が様々な可能性を追求することができ、かつ美しい自然や歴史を未来に継承しながら、活気と賑わいに満ちた健康で笑顔で暮らせるまちづくり」を進めています。本市教育は、このまちづくりの理念のもと、市民一人一人が自ら学ぶ意欲を養うことで、将来の夢や希望に向かって自らの可能性を高め、人間力（人として生きる力）を育み、心身ともに健康で豊かな人生を送ることができる生涯学習社会の実現を目指します。

このため、学校・家庭・地域社会がそれぞれの役割と責任を自覚し、相互に連携協力しながら、社会状況の変化に対応する教育の向上に取り組み、豊かな人間性と創造力・国際性を備えた人材の育成や、たくましく生きる力を育む教育を推進します。



《 教育目標 》

I 生きがいを持って活躍できる生涯学習とスポーツ環境の整備

市民が、生涯にわたって自発的に学び、芸術・文化・スポーツなどに親しむことを通して、生きがいを持って活躍できる生涯学習・スポーツ環境の整備を推進します。

II 家庭・地域の教育力の向上と協働の推進

家庭や地域の教育力の向上に向けた取組を推進するとともに、学校、家庭、地域社会が協働・連携して子どもを育てる環境づくりを推進します。

III 「知・徳・体」の調和のとれた生きる力を育む学校教育の推進

子ども一人一人の個性を尊重してその能力を伸ばし、個人として、社会の一員として「知・徳・体」の調和のとれた生きる力を育む学校教育を推進します。

IV 人吉市民としての誇り、郷土愛を育む歴史・文化環境の整備

豊かな自然とそれを背景に培われた歴史と文化を守り、活用に努めるとともに、人吉市民としての誇り、郷土愛を育む環境整備を推進します。